

令和4年度文部科学省委託事業  
「専修学校留学生の学びの支援推進事業」

# 留学生に関する 実態把握アンケート調査報告書

留学生対象

令和4年11月調査

---

一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

## ◇調査方法

調査対象：①大専各会員校在籍留学生  
②(株)アクセスネクステージ運営「アクセス日本留学」登録学生(日本語教育機関在籍)  
※滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山在住／2023年3月～2024年3月卒業予定

調査方法：インターネット調査(アンケート)

調査期間：2022年10月7日～11月4日

回答数：733

## ◇INDEX

P01	1. 調査概要／INDEX
P02	2. 回答者属性
P05	3. 本調査
P05	1-1 日本留学の目的
P06	1-2 日本以外の留学検討国
P07	1-3 留学先地域選択の理由
P08	1-4 学校選択の理由
P09	1-5 日本留学のための情報収集
P10	1-6 渡日前学習
P11	2-1 コロナ禍でのオンライン授業
P19	2-2 コロナ禍の留学生活
P20	3-1 留学生の望む渡日前サポート
P21	3-2 留学生が今求めるサポート
P22	3-3 留学生の満足度が高いサポート
P23	3-4 留学生が今後求めるサポート
P24	4-1 将来の希望
P25	5-1 留学生活の断念
P26	6-1 留学生の就職活動
P27	7-1 今後の日本留学志望者へ

## 2 回答者属性

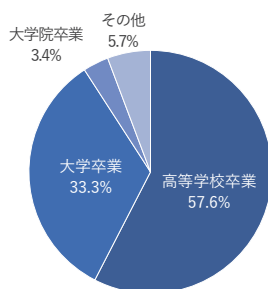
### ◇出身国・または地域および性別

回答数：733件

出身国・または地域	男性	女性	その他	総計	割合
中国	102	76	2	180	24.6%
ベトナム	72	99		171	23.3%
ネパール	19	33		52	7.1%
韓国	35	20		55	7.5%
台湾	33	35		68	9.3%
スリランカ		2		2	0.3%
インドネシア	21	12		33	4.5%
ミャンマー	11	22		33	4.5%
タイ	4	4	1	9	1.2%
バングラデシュ	5			5	0.7%
アメリカ	6	1		7	1.0%
ヨーロッパ	7	3		10	1.4%
イラン	1			1	0.1%
インド	3			3	0.4%
ウズベキスタン	2			2	0.3%
エチオピア	1			1	0.1%
カンボジア	4	3		7	1.0%
ソロモン諸島	1			1	0.1%
チュニジア	1			1	0.1%
トルコ	1			1	0.1%
パキスタン	2			2	0.3%
フィリピン	2	27		29	4.0%
マカオ		1		1	0.1%
マレーシア	4	5		9	1.2%
メキシコ	1			1	0.1%
モンゴル	1	1		2	0.3%
ラオス	2	3		5	0.7%
ロシア	2	2		4	0.5%
香港	24	14		38	5.2%
総計	367	363	3	733	100.0%
割合	50.1%	49.5%	0.4%	100.0%	

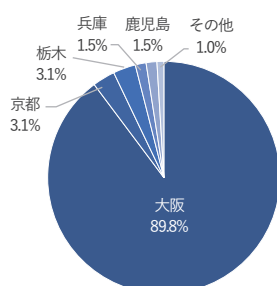
### ◇出身国・または地域での最終学歴

回答数：733件



### ◇現在在籍している学校の場所

回答数：733件

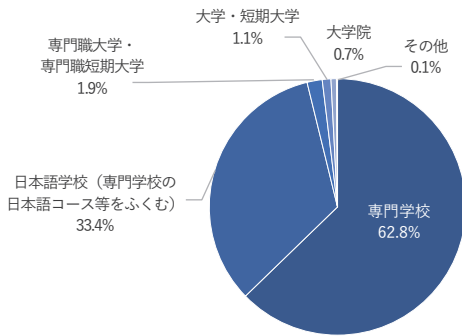


# 2 回答者属性



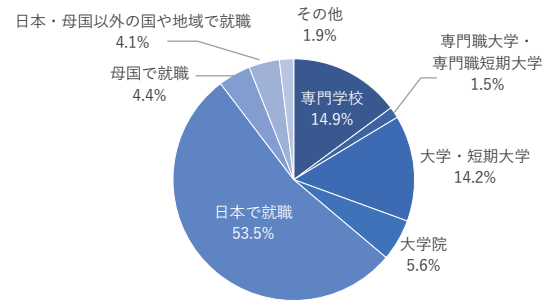
## ◇現在在籍している学校の種別

回答数：733件



## ◇希望進路

回答数：733件



出身国・または地域	現在在籍している学校の種別							総計	割合
	専門学校	日本語学校 (専門学校の日本語コース等をふくむ)	専門職大学・専門職短期大学	大学・短期大学	大学院	その他			
中国	94	77	3	3	2	1	180	24.6%	
ベトナム	126	38	4	3			171	23.3%	
ネパール	33	18	1				52	7.1%	
韓国	50	5					55	7.5%	
台湾	37	26	2	2	1		68	9.3%	
スリランカ	2						2	0.3%	
インドネシア	30	3					33	4.5%	
ミャンマー	11	22					33	4.5%	
タイ	6	2			1		9	1.2%	
バングラデシュ	3		2				5	0.7%	
アメリカ	2	5					7	1.0%	
ヨーロッパ	3	7					10	1.4%	
その他	63	42	2	0	1	0	108	14.7%	
総計	460	245	14	8	5	1	733	100.0%	
割合	62.8%	33.4%	1.9%	1.1%	0.7%	0.1%	100.0%		

## ◇希望進路

回答数：733件

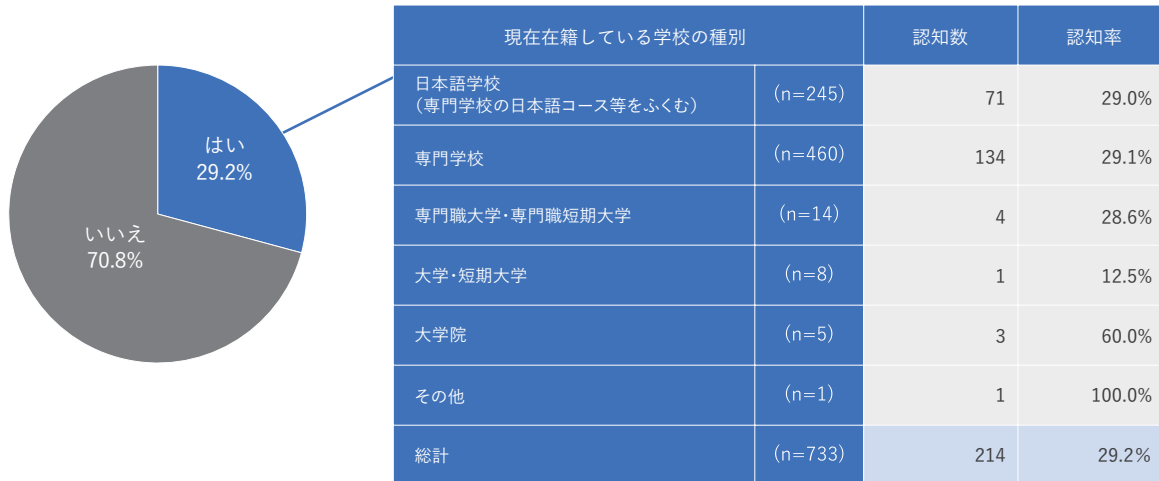
現在在籍している学校の種別	希望進路								総計	割合
	専門学校	専門職大学・専門職短期大学	大学・短期大学	大学院	日本で就職	母国で就職	日本・母国以外の国や地域で就職	その他		
日本語学校 (専門学校の日本語コース等をふくむ)	64	6	74	26	57	7	4	3	245	33.4%
専門学校	44	3	29	10	320	23	25	4	460	62.8%
専門職大学・専門職短期大学		2		1	10			4	14	1.9%
大学・短期大学			1	2	4	1		2	8	1.1%
大学院	1			1	1	1	1	1	5	0.7%
その他				1				0	1	0.1%
総計	109	11	104	41	392	32	30	7	733	100.0%
割合	14.9%	1.5%	14.2%	5.6%	53.5%	4.4%	4.1%	1.0%	100.0%	

## 2 回答者属性

### ◇大専各「留学生委員会」への認知

回答数：733件

大専各「留学生委員会」が、留学生向けホームページの開設などの活動をしていることを知っていましたか？



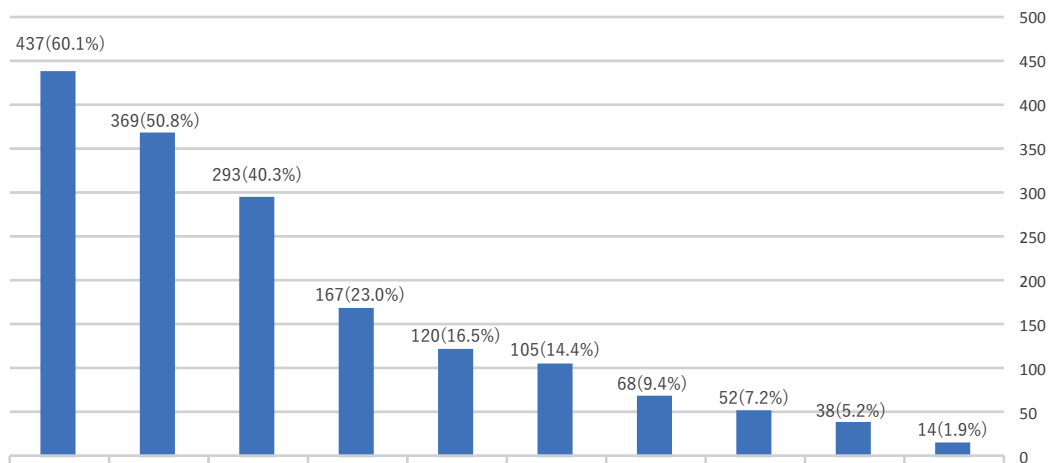
## 1-1 日本留学の目的

日本留学の目的は大学や専門学校を卒業したあとに「将来、日本国内または日本の企業で働きたいから」が60.1%と最多。「日本の文化に興味があるから(50.8%)」「日本の高いレベルの教育を受けたかったから(40.3%)」が続いた。

在籍している学校種別に見ると、専門学校、大学・短期大学、大学院では「将来、大学や専門学校を卒業したあとに、日本国内または日本の企業で働きたいから」をいずれも60%強が回答。日本語学校、専門職大学・専門職短期大学では「日本の文化に興味があるから」が60%前後で最多となっており、日本留学の目的が在籍段階により異なると言える。

### ◇なぜ、あなたは「日本」に留学しましたか(最大3つまで選んでください)

回答数：727件



		将来、日本国内または日本の企業で働きたいから	日本の文化に興味があるから	日本の高いレベルの教育を受けたかったから	日本語を学ぶと母国に帰ってから就職などに有利になると思ったから	いろいろな国から日本へ来た留学生と交流し、国際的な人脈をつくりたいから	他の国へ留学するより「日本」のイメージが良かったから	友だち・先輩・家族が日本にいるから	日本への留学を勧められたから	日本の学費や物価が他の国よりも安かったから	その他
総計 (n=727)		60.1%	50.8%	40.3%	23.0%	16.5%	14.4%	9.4%	7.2%	5.2%	1.9%
在籍学校種別	日本語学校(専門学校・日本語コース等をふくむ) (n=244)	58.6%	59.8%	45.5%	29.5%	16.8%	9.0%	9.8%	2.5%	7.4%	0.4%
	専門学校 (n=456)	60.0%	46.3%	37.5%	19.1%	16.4%	17.8%	8.8%	9.4%	3.7%	2.9%
	専門職大学・専門職短期大学 (n=13)	46.2%	61.5%	46.2%	30.8%	23.1%	15.4%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%
	大学・短期大学 (n=8)	62.5%	50.0%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%
	大学院 (n=5)	80.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	その他 (n=1)	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

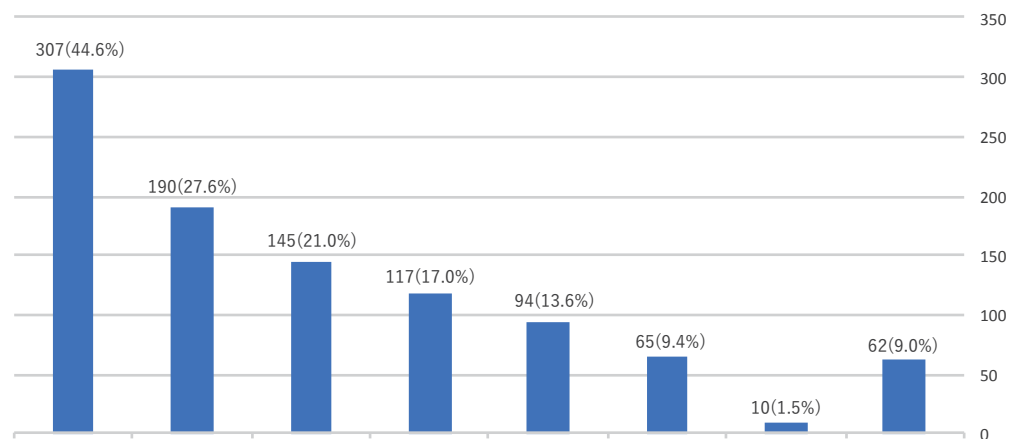
## 1-2 日本以外の留学検討国

日本以外の留学先候補では、「他の国は候補になかった」が44.6%で最多。前年の29.8%から大きく伸長している。次点で「アメリカ(27.6%)」、「ヨーロッパ(21.0%)」、「オーストラリア(17.0%)」、「韓国(13.6%)」、「中国(9.4%)」と続く。

出身国・地域別に見ると、ミャンマーでは62.5%が「他の国は候補になかった」との回答で平均よりもおよそ20ポイント高い回答で、インドネシアも50.0%と高い。

日本留学希望者が増加しているネパールでは「アメリカ(48.0%、前回37.5%)」「オーストラリア(42.0%、前回37.5%)」と英語圏も視野に入れる学生が増加しており、円安の影響が懸念される。男女別で見ると男性は「アメリカ」、女性は「中国」「韓国」などアジア圏を希望する学生がやや多く、性差による進学先検討地域の違いも見られる。

◇日本のほかに、留学先の候補はありましたか?(最大3つまで選んでください) 回答数：689件



		他国は候補 になかった	アメリカ	ヨーロッパ	オーストラリア	韓国	中国	インド	その他	
総計	(n=689)	44.6%	27.6%	21.0%	17.0%	13.6%	9.4%	1.5%	9.0%	
出身国・地域別	中国	(n=168)	40.5%	28.0%	28.0%	13.7%	11.9%	7.7%	1.2%	7.1%
	ベトナム	(n=162)	44.4%	21.6%	11.1%	7.4%	29.0%	19.1%	1.9%	7.4%
	ネパール	(n=50)	40.0%	48.0%	20.0%	42.0%	10.0%	6.0%	4.0%	2.0%
	韓国	(n=51)	45.1%	27.5%	29.4%	19.6%	3.9%	3.9%	2.0%	7.8%
	台湾	(n=64)	43.8%	39.1%	23.4%	20.3%	15.6%	4.7%	0.0%	7.8%
	スリランカ	(n=1)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	インドネシア	(n=32)	50.0%	28.1%	25.0%	28.1%	0.0%	9.4%	0.0%	12.5%
	ミャンマー	(n=32)	62.5%	21.9%	21.9%	12.5%	6.3%	0.0%	0.0%	3.1%
	タイ	(n=7)	42.9%	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%
	バングラデシュ	(n=5)	40.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	アメリカ	(n=7)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	ヨーロッパ	(n=9)	55.6%	11.1%	22.2%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%
	その他	(n=101)	41.6%	22.8%	17.8%	22.8%	6.9%	6.9%	2.0%	20.8%
	性別	男性	(n=341)	45.5%	29.9%	21.1%	17.3%	10.6%	7.9%	1.2%
女性		(n=345)	43.5%	25.5%	21.2%	16.8%	16.5%	11.0%	1.7%	10.4%
その他		(n=3)	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%



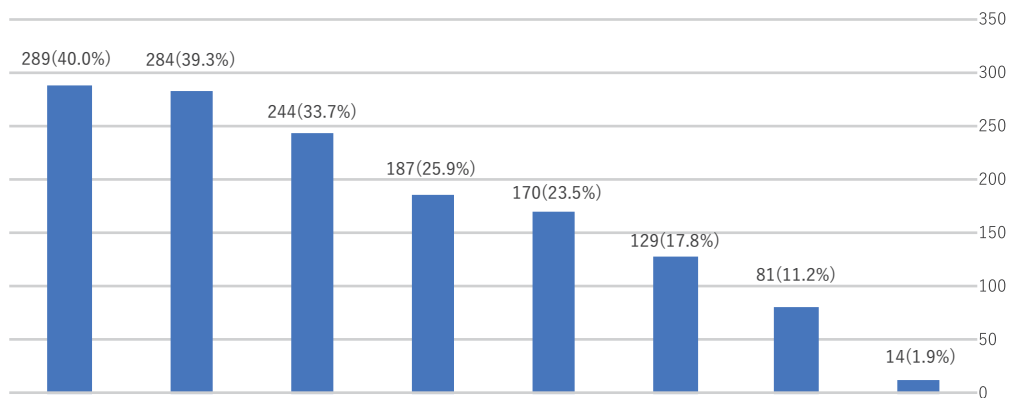
## 1-3 留学先地域選択の理由

現在生活している地域を留学先として選定した理由としては、「行きたい学校があったから」が40.0%で最多。特に韓国は67.3%と突出した結果となった。次いで僅差で「将来、今住んでいる地域で働きたいから(39.3%)」「今住んでいる地域の文化に興味があるから(33.7%)」の回答が多かった。

出身国・地域ごとに見ると、ベトナムでは「将来、今住んでいる地域で働きたいから(53.5%)」と就職を見据えた進学希望が多いと言える。またベトナム、ネパール、ミャンマーでは「友だち・先輩・家族にすすめられたから」の数値が平均よりも高く、特にネパールは「母国の学校の先生にすすめられたから」も突出しており、口コミの影響力が高いと言える。

### ◇なぜ、日本の中で、今行っている学校がある地域に留学しましたか？ (最大3つまで選んでください)

回答数：723件



		行きたい学校があったから	将来、今住んでいる地域で働きたいから	今住んでいる地域の文化に興味があるから	交通などが便利だから	友だち・先輩・家族にすすめられたから	生活費が安いから	母国の学校の先生にすすめられたから	その他	
総計	(n=723)	40.0%	39.3%	33.7%	25.9%	23.5%	17.8%	11.2%	1.9%	
出身国・地域別	中国	(n=177)	42.9%	37.3%	34.5%	24.3%	22.6%	16.4%	8.5%	1.1%
	ベトナム	(n=170)	34.1%	53.5%	33.5%	28.2%	27.6%	14.7%	11.8%	0.6%
	ネパール	(n=52)	44.2%	38.5%	34.6%	7.7%	28.8%	11.5%	40.4%	0.0%
	韓国	(n=55)	67.3%	21.8%	14.5%	12.7%	14.5%	9.1%	3.6%	1.8%
	台湾	(n=68)	29.4%	29.4%	36.8%	44.1%	19.1%	36.8%	1.5%	1.5%
	スリランカ	(n=2)	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	インドネシア	(n=33)	45.5%	36.4%	36.4%	42.4%	21.2%	12.1%	18.2%	6.1%
	ミャンマー	(n=33)	45.5%	45.5%	36.4%	30.3%	33.3%	6.1%	15.2%	3.0%
	タイ	(n=9)	44.4%	22.2%	0.0%	33.3%	11.1%	33.3%	0.0%	11.1%
	バングラデシュ	(n=5)	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%
	アメリカ	(n=7)	28.6%	28.6%	42.9%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
ヨーロッパ	(n=9)	33.3%	11.1%	33.3%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%	11.1%	
その他	(n=103)	32.0%	38.8%	42.7%	26.2%	21.4%	27.2%	10.7%	2.9%	
性別	男性	(n=363)	43.3%	36.6%	32.5%	24.8%	21.8%	19.0%	10.7%	1.1%
	女性	(n=357)	36.7%	42.0%	35.3%	27.2%	25.5%	16.8%	11.5%	2.8%
	その他	(n=3)	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%



## 1-4 学校選択の理由

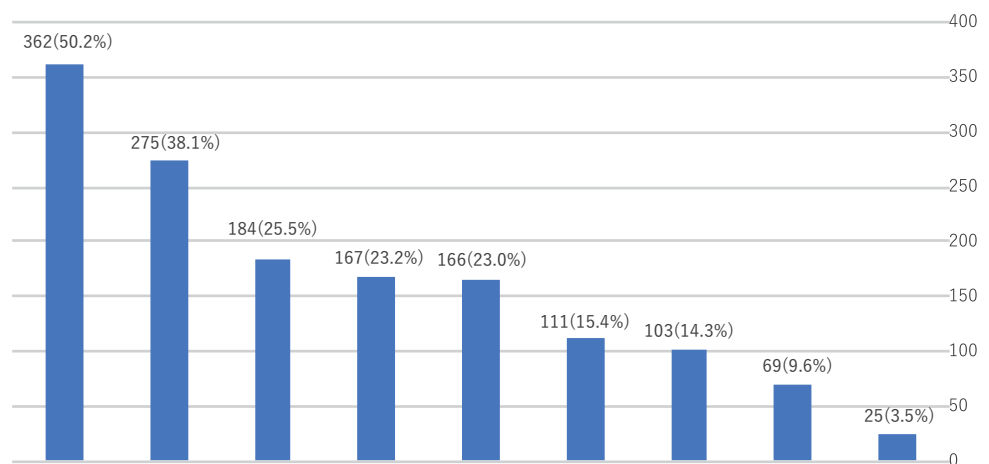
学校選択の理由としては「学べる内容やカリキュラムが、自分に合っていると思ったから」が50.2%と最も多く、前年の32.4%から大きく伸長している。また「卒業後の就職や進路の実績が多いから(38.1%)」が次に続く結果となった。

現在の学校種別による回答割合の差も大きく、それぞれの在籍段階での重点要素の変動が確認できる。日本語学校在籍者では立地や家族の紹介の比率が高く、進路実績の比率が平均よりも低い。専門学校在籍者では卒業後の就職についての関心が最も高く、サポートを重視する学生の比率も平均より高い。大学・短期大学在籍者では学べる内容の比率が非常に高く、立地や先生の勧めに対する割合も高い。

ターゲットとなる留学生の関心にあった情報を提供することで、双方にとってよりよいマッチングの可能性が見いだせると言える。

◇なぜ、今行っている学校を選びましたか?(最大3つまで選んでください)

回答数：721件



		学べる内容やカリキュラムが、自分に合っていると思ったから	卒業後の就職や進路の実績が多いから	いろいろなサポートがありそうだから	場所が便利だから	友だち・先輩・家族に紹介されたから	前に通っていた学校の先生にすすめられたから	学費が安いから	留学生が多いから	その他	
総計	(n=721)	50.2%	38.1%	25.5%	23.2%	23.0%	15.4%	14.3%	9.6%	3.5%	
在籍学校種別	日本語学校 (専門学校日本語コース等をふくむ)	(n=243)	46.5%	20.6%	21.4%	33.3%	27.6%	15.6%	14.4%	9.5%	3.7%
	専門学校	(n=452)	51.8%	47.6%	28.3%	17.5%	20.8%	15.0%	14.2%	9.5%	3.3%
	専門職大学・ 専門職短期大学	(n=13)	53.8%	53.8%	23.1%	7.7%	38.5%	7.7%	15.4%	7.7%	0.0%
	大学・短期大学	(n=7)	71.4%	42.9%	0.0%	57.1%	0.0%	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%
	大学院	(n=5)	40.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%
	その他	(n=1)	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

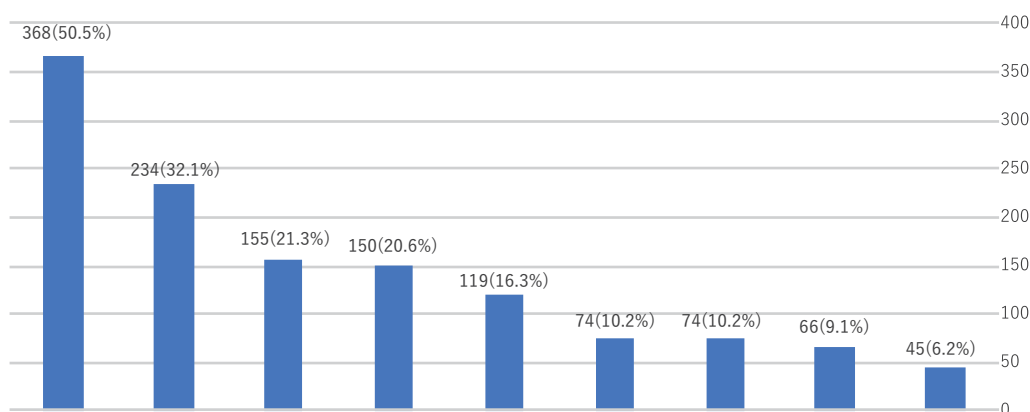
## 1-5 日本留学のための情報収集

日本留学のための情報収集手段として半数以上の学生が利用していたのは「インターネット」で50.5%。次いで「母国の日本語教育関係者に聞いた(32.1%)」、「母国のエージェントを利用した(21.3%)」、「日本の学校関係者に聞いた(20.6%)」、「母国の学校関係者に聞いた(16.3%)」と続き、インターネットと合わせて口コミで情報収集している状況が見られる。

出身国・地域別に見ていくとベトナムでは「Facebookを使って自分で調べた(23.4%)」、ネパールでは「YouTubeを使って自分で調べた(15.4%)」とSNSを活用して自主的に情報収集していることが伺える。「母国のエージェント利用」ではインドネシア、ミャンマー、タイが高い数値となっており、多く利用されている。

### ◇ どうやって日本留学の情報を調べましたか?(最大3つまで選んでください)

回答数：728件



		インターネットを使って自分で調べた	母国の日本語教育関係者に聞いた	母国のエージェントを利用した	日本の学校関係者に聞いた	母国の学校関係者に聞いた	YouTubeを使って自分で調べた	Facebookを使って自分で調べた	母国の留学情報誌を読んで自分で調べた	その他のSNSを使って自分で調べた	
総計		(n=728)	50.5%	32.1%	21.3%	20.6%	16.3%	10.2%	10.2%	9.1%	6.2%
出身国・地域別	中国	(n=178)	44.4%	37.6%	20.8%	27.5%	18.0%	2.8%	1.1%	5.6%	6.7%
	ベトナム	(n=171)	57.9%	31.6%	14.6%	21.6%	22.8%	13.5%	23.4%	9.4%	2.9%
	ネパール	(n=52)	38.5%	48.1%	11.5%	26.9%	11.5%	15.4%	13.5%	11.5%	5.8%
	韓国	(n=54)	57.4%	18.5%	18.5%	16.7%	18.5%	5.6%	1.9%	3.7%	11.1%
	台湾	(n=68)	61.8%	32.4%	25.0%	7.4%	10.3%	13.2%	2.9%	14.7%	10.3%
	スリランカ	(n=2)	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	インドネシア	(n=33)	42.4%	27.3%	39.4%	21.2%	18.2%	9.1%	0.0%	9.1%	3.0%
	ミャンマー	(n=33)	42.4%	36.4%	33.3%	21.2%	15.2%	9.1%	24.2%	3.0%	6.1%
	タイ	(n=9)	44.4%	22.2%	33.3%	11.1%	33.3%	0.0%	22.2%	0.0%	22.2%
	バングラデシュ	(n=5)	40.0%	20.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%
	アメリカ	(n=7)	85.7%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	ヨーロッパ	(n=9)	77.8%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%
その他	(n=107)	45.8%	28.0%	27.1%	16.8%	9.3%	17.8%	9.3%	16.8%	4.7%	

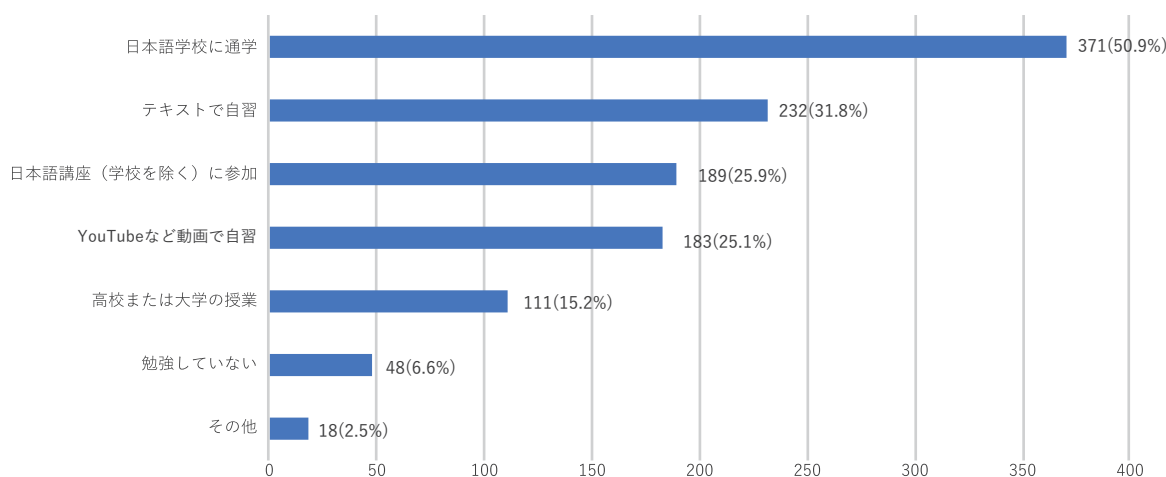
## 1-6 渡日前学習

渡日前の日本語学習の手段としては「日本語学校に通学」が50.9%で最多で、「テキストで自習(31.8%)」「日本語講座(学校を除く)に参加(25.9%)」「YouTubeなど動画で自習(25.1%)」「高校または大学の授業(15.2%)」が続き「勉強していない(6.6%)」という回答も見られた。

さらに、各項目の重なりを見てみると「日本語学校に通学している」の回答者のうち、「テキストで自習(25.1%)」「YouTubeなど動画で自習(22.1%)」、「高校または大学の授業」の回答者のうち、「日本語学校に通学(30.6%)」「テキストで自習(23.4%)」「YouTubeなど動画で自習(18.0%)」と、約5人に1人以上の留学生が教育機関と自主学習を併用していることがわかった。

### ◇日本に来る前に、どうやって日本語を勉強していましたか？ (最大3つまで選んでください)

回答数：729件



### ◇日本語学習手法の併用率

	併用手法						
	高校または大学の授業	日本語学校に通学	日本語講座(学校を除く)に参加	テキストで自習	YouTubeなど動画で自習	勉強していない	その他
高校または大学の授業	111	34	19	26	20	0	3
	100.0%	30.6%	17.1%	23.4%	18.0%	0.0%	2.7%
日本語学校に通学	34	371	52	93	82	3	3
	9.2%	100.0%	14.0%	25.1%	22.1%	0.8%	0.8%
日本語講座(学校を除く)に参加	19	52	189	65	55	2	1
	10.1%	27.5%	100.0%	34.4%	29.1%	1.1%	0.5%
テキストで自習	26	93	65	232	88	0	3
	11.2%	40.1%	28.0%	100.0%	37.9%	0.0%	1.3%
YouTubeなど動画で自習	20	82	55	88	183	2	2
	10.9%	44.8%	30.1%	48.1%	100.0%	1.1%	1.1%
勉強していない	0	3	2	0	2	48	1
	0.0%	6.3%	4.2%	0.0%	4.2%	100.0%	2.1%
その他	3	3	1	3	2	1	18
	16.7%	16.7%	5.6%	16.7%	11.1%	5.6%	100.0%

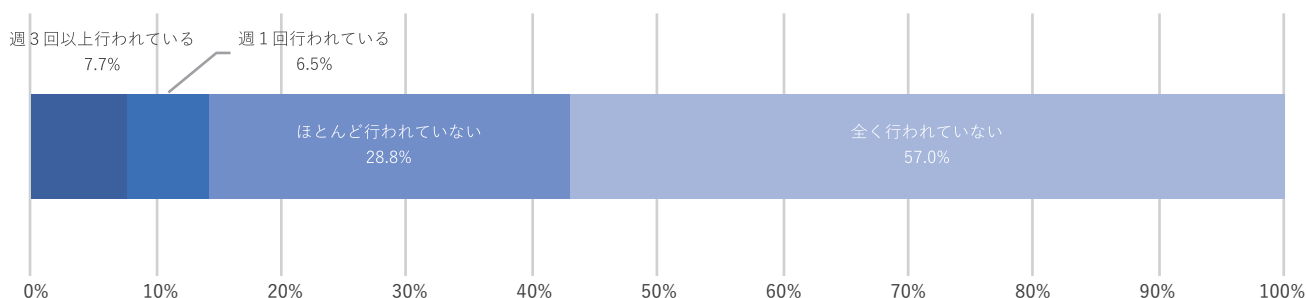
## 2-1 コロナ禍でのオンライン授業

コロナ禍で急速に広まったオンライン授業について、前回調査では「オンライン授業はない」と回答する学校は8.3%だったが、今回調査では「全く行われていない(57.0%)」「ほとんど行われていない(28.8%)」と8割以上の教育機関でオンライン授業がほぼ行われておらず、対面型の授業へ移行していることがわかる。

在籍学校種別に見ていくと、日本語学校や専門学校、専門職大学・専門職短期大学など、語学力や実技指導が必要なカリキュラムの学校種別では対面型授業にほとんど戻っていると言える。一方で大学・短期大学では「全く行われていない(25.0%)」「ほとんど行われていない(25.0%)」とハイブリッド型で授業が実施されている様子が見られる結果となっており、学校種別ごとに大きな違いが見られた。

◇今通っている学校で「オンライン授業」は行われていますか？

回答数：728件

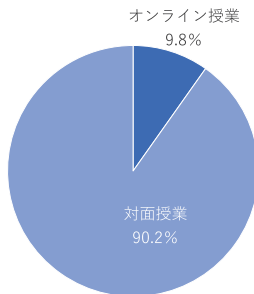


		週3回以上行われている	週1回行われている	ほとんど行われていない	全く行われていない	
総計		(n=728)	7.7%	6.5%	28.8%	57.0%
在籍学校種別	日本語学校(専門学校の日本語コース等をふくむ)	(n=242)	11.2%	3.3%	24.8%	60.7%
	専門学校	(n=458)	5.0%	7.6%	31.0%	56.3%
	専門職大学・専門職短期大学	(n=14)	21.4%	0.0%	35.7%	42.9%
	大学・短期大学	(n=8)	12.5%	37.5%	25.0%	25.0%
	大学院	(n=5)	40.0%	0.0%	20.0%	40.0%
	その他	(n=1)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

## 2-1 コロナ禍でのオンライン授業

◇オンライン授業と対面授業、どちらが効果的だと思いますか?

回答数：724件



◇前問の理由をおしえてください。| 自由回答

回答数：455件

### オンライン授業

#### 〔コロナ・健康〕

- Because the increasing the case of corona virus i think the online classes is more safer then physical classes(コロナウィルスの感染者が増えているので、オンライン授業の方が物理的な授業よりも安全だと思います)
- コロナに心配することだから
- コロナ人がなりました。
- 交通費がかからないとコロナを感染率を減らすため。
- because they have coronavirus its very dangerous.(彼らはコロナウィルスを持っているので、非常に危険です。)

#### 〔時間〕

- 通学の時間がかかります
- 準備はなしですから、起きて勉強できる
- 通学の時間は無駄になります
- 電車に乗る必要もないし、楽に勉強できる
- 通勤時間がない
- 毎日学校に通うとお金も時間もかかるから
- 交通時間がかからないから
- 独学する時間があります

#### 〔勉強環境〕

- 集中して勉強に取り組みます。周りに騒がしい生徒がいないため、環境を整えることで集中空間を作れます。また、自主性も育まれます。
- オンライン授業で学校に行く必要なく、便利に家で勉強できる
- 動画を繰り返して復習できるから
- 個人的には対面授業でも先生の状態が良くない場合があってそれよりオンライン授業の方が集中できると思います。
- 簡単だから
- 日本語を勉強する同時ejuを復習することができる
- より勉強に集中できる
- オンラインの方がわかりやすい
- 画面が見やすいです。
- オンライン授業のほうのソフト操作がはっきり見えます。それに大人数の授業をする時にも学生からの質問が伝えられます。

#### 〔その他〕

- 留学生に向けて取り組みしてほしい
- 選択肢がないが、効果的かどうか授業内容によると考える。例えばグループワークが必要だったら対面で、コミュニケーションがあまり必要ではないのならオンラインでやる。といったようなハイブリッド式こそが一番効果的だと考えられる。
- 学校によって違うけど、特別にプログラムがあればこそオンライン授業は①学校に通うために時間と力が必要なので疲れやすい。②家のほうがリラックスで集中しやすい③勉強はクラスより実力高い学校のほうが眠くなる自分学習スピード高いでも、日本の場合はまだオンラインの授業には準備が少なすぎて、授業中サイトとアプリを使う習慣はなくて、ある人はオンライン授業は苦手らしいです。
- テレビの授業が小さくて、文字が見えませんでした。また、先生についていけない、録画も難しくて、日本語の一部まだわからないので、授業の内容があまりわかりません。
- 都行(すべてがうまくいく)

(注釈:「なし」の項目は削除、表記は原文ママ、外国語には翻訳を追加)

## 2-1 コロナ禍でのオンライン授業

### 対面授業

#### 〔分かりやすさ〕

- オンラインでしたら、内容が分かりにくくなる
- オンラインの方は聞きにくいです。
- 学校で勉強したら理解できるから
- 詳しく教える
- 対面授業した理解はやすいです。
- 対面授業なら、先生は私たちの学習の進度に合わせて授業の進度を調整してくれる。
- 直接であったら勉強しやすい、コミュニケーションもちゃんと通じる
- 分かり安い。
- 勉強の効果が良い
- 分かりやすいですから。
- 分かりやすいです。
- 分かりやすいし、つまらなくないです。
- 分かりやすいんです。
- オンライン授業は難しいから、対面授業が分かりやすいと思います。
- わかりやすいから、友達、先生たちに直接会えるから
- 知識を直接受け取ったの方が分かりやすいと思う。
- わかりやすい
- 分かりやすい。
- わかりやすいので
- 対面授業の方が勉強しやすいです。
- 授業の説明はわかりやすいと思う
- 留学生からオンラインするのなら学びにくいと思います。
- 説明わかり安い
- オンラインの勉強はわかりにくいですが家で勉強したくないです。
- わからない時もっと便利
- 直接授業に参加するのが分かりやすいからです、
- 話ができないから分かりづらい
- オンライン授業は勉強できない
- 教室で勉強すれば、より深く知識を学ぶことができます。
- 対面授業の方が説明などちゃんと聞けるからです。インターネットが整っているかどうか関係なく、授業に参加ですから
- オンライン授業は分かりにくいです。
- 先生の説明がよくわかるから
- 対面の方が授業内容が分かりやすいからです。
- 理解しやすい
- 覚えやすい。
- オンラインより対面授業が取り込みやすいからです。
- 先生と学生直接勉強するともっとわかりやすいとおもいますから
- 対面授業はもっと分かりやすい
- 聞きやすい
- 勉強についてわかりやすい
- 先生から直接教えてもらえると、わかりやすいと思います。オンライン授業が参加するとあまり集中力を感じません。
- 勉強が分かりやすい。

- わかりやすいからです
- 理解できる
- ちゃんと内容を聞けるからです
- 先生の話がちゃんと聞いているから
- せんせいがおしえることはりかいしやすいからです。
- 対面の方が理解しやすい
- わかりやすいです
- 対面授業で学生の状態がわかりやすくて先生の声も聞きやすいので、わからないことがあればすぐ、先生に聞くことが出来ます。
- 理解しやすいから
- 対面授業で先生の話聞いたほうがはっきりしている。
- わかりやすいです。
- 対面授業のほうがわかりやすいから。
- 対面授業の方がわかりやすいからです。
- わかりやすいから
- 分かりやすい
- わかりやすく、インターネットの状態の影響はなく、教員との直接に聞かれる。
- より良い学識を受け、教師から徹底的な答えを得る
- 勉強のすすみかたがわかりづらい
- Face to face classes are easy to understand. (対面授業は分かりやすいです。)
- you can understand and interact (理解し、対話することができます)
- Face to face is more interesting and effective for me so I like teaching face to face. (対面で教えるほうが私にとってより興味深く効果的なので、対面で教えるのが好きです。)
- 更的的进行学习(よりよく学ぶ)
- The learning quality will be good. (学習の質が良くなります。)
- 比較易懂(理解しやすい)
- Because we can understand it more clearly and we feel lazy taking online class(より明確に理解できるようになり、オンライン授業が面倒くさくなるからです。)
- Understand clearly (はっきりと理解する)

(注釈:「なし」の項目は削除、表記は原文ママ、外国語には翻訳を追加)

## 2-1 コロナ禍でのオンライン授業

### 〔やる気・集中力〕

- ・オンテイン授業集中できない
- ・オンラインで一生涯懸命勉強できないと思います
- ・オンラインすると全然集中しないからです。
- ・オンラインだったら集中できない。
- ・オンラインだったら目も痛いし眠いです。
- ・オンラインで、怠惰
- ・オンラインでは頭に入りません
- ・オンラインで眠いです。
- ・おんらいんのじゅうぎょがいえにするからあまりしゅうちゅうできないです
- ・オンラインは気が散りやすい
- ・オンラインは集中ができないです。
- ・オンラインは中集中力は低くなる
- ・オンラインより集中できるから。
- ・オンライン授業だと集中しにくい
- ・オンライン授業では、眠くなるし、集中あまりできないし、他の人との距離を感じるからです。そして、私が介入する場合、自分の顔おきく、皆の前に見せられてしまうので、緊張します。そのため、あまり介入しなくなりました。でも、自分の意見を伝えるのは授業の大切なことだと思います。
- ・オンライン授業では参加しようとしなから
- ・オンライン授業にサボりやすいから
- ・オンライン授業に参加する時、集中できないです
- ・オンライン授業の時、クラスメートとほとんど会えませんから。ずっと家でいることも好きではない
- ・オンライン授業はなかなか集中できない、眠くなることが多いので。
- ・オンライン授業は自由ですから勉強しない状況があります。
- ・オンライン授業は集中力が低下だと思っています。
- ・オンライン授業より対面授業で集中出来るから
- ・ノートパソコンなど小さい画面で見ると集中力が落ちやすい
- ・ペンぎょうをしゅうちゅうできることで
- ・もっと授業に集中できるからです
- ・もっと集中できるからです
- ・やる気が出てきます
- ・家では集中できないし、質問があれば先生に聞きにくい。
- ・学校に勉強するともっと集中できる。
- ・学校の雰囲気ややはり勉強に向いている。オンラインだと、集中できないときが多い。
- ・学生が眠くて聞いていない可能性があります。
- ・学生たちはオンラインで集中できないし、同級生の中で会話練習きかいないし、先生たちは皆を気を付けることができないからです。
- ・私にとっては対面授業をすると、集中できます
- ・私書くと聞くタイプです。オンラインでたまに他の事をやりつつ授業のスピーチを聞く。あまり集中できない。直接勉強すれば周囲の状況に左右されることなく勉強に集中できると思います。
- ・自宅のいると、効率は低くなります
- ・実際は対面で集中できるし、電波の問題とかはない
- ・授業に集中できる
- ・授業に集中できるし、先生が教えてくれたことがわかりやすいし、何かわかりにくいときには直接に質問できます

- ・集中できる環境で勉強するから
- ・集中力が出るから
- ・集中力のほうが高いから
- ・人数が多いから。オンライン授業で集中する事が難しいですから。
- ・先生が直接教えているのを聞くと、より興味深く、集中できるようになります
- ・先生たちが生徒たちの様子を見れると思いますのでそっちの方が先生たちがもっと燃え上がるというか、もっとやるきがやすい？の環境になると思います
- ・対面であれば、もっと勉強のやる気が出せるからです
- ・対面で勉強すると、もっと勉強しやすくなります
- ・対面の方がやる気ある
- ・対面の方が集中できる。
- ・対面の方が勉強のやる気があるから
- ・対面授業からこそ勉強したい気持ちが湧いてくる
- ・対面授業からモチベーションがあります
- ・対面授業で集中力が高まり、クラスの雰囲気より感じる事ができます。
- ・対面授業には集中しやすいので
- ・対面授業の方が集中できる、オンライン授業は時間制限になって、質問があってもよく聞くことができません。
- ・対面授業の方が集中できるし、わからないところあったら、すぐ先生か同僚に聞けますから。
- ・対面授業は皆一緒にがんばって、自分が動力になるから
- ・対面授業は勉強しやすい。
- ・注意力が高まさせる
- ・通信問題がなく、集中できる。質問しやすい。
- ・美術系の学校の授業は時々説明が少なく大半の時間は個人作業ですけど、作業は学校でやったほうが集中できる人なんです。説明が少ないからこそオンラインだと授業がない感じがします。学校に行ったらせめて雰囲気が作業に向いています。
- ・勉強しやすいからです
- ・勉強に集中できます。
- ・眠くないからです。
- ・オンライン授業はじっと画面しか見えないのでつまらないです。他のクラスメートと勉強した方が授業の雰囲気が出て、効率があると思うからです
- ・オンラインで全然勉強できない、日本語をしゃべる機会もない
- ・オンラインクラスでは、みんな寝ています。
- ・対面の方がちゃんと勉強できると思います。
- ・I can effort. more than online(がんばれる。オンライン以上に)
- ・信息交換的効率很高;人的精神更集中;想要留下好学生的印象而努力学习(情報交換の効率は非常に高く、人々の精神はより集中し、良い学生として印象付けられ、一生懸命勉強したいと考えています。)
- ・Face to face class is more effective than online class because students are get more attention than online class, they can concentrate on their study.(オンライン授業よりも対面授業の方が効果的です。オンライン授業よりも学生の注目が集まり、勉強に集中できるからです。)
- ・There's no point to study oversea if the course is held online. And the relationships between students and teachers under online classes would also affect the passion in participating during class. (オンラインでの授業では留学する意味がありません。また、オンライン授業での生徒と教師の関係も、授業中の参加への情熱に影響を与えます。)

(注釈:「なし」の項目は削除、表記は原文ママ、外国語には翻訳を追加)



## 2-1 コロナ禍でのオンライン授業

### 〔質問できる〕

- IT系なので実機をして先生からのフィードバックが欲しかったです。
- オンラインより教室の中で先生と出会う質問したり勉強したりするのがいいと思いますからです。
- オンライン授業なら先生とコミュニケーションをとりやすいと思います
- オンライン授業は先生と話すことができないからです。
- クラスメイトと意見を交流できて知らないところは他の人に伺えます
- みんなであって、わからないことがあればすぐに先生や友達と着て見える。
- よりよい質問と答えは、声に出して話すよりわかりやすい
- わからないことを先生に聞きやすい
- 快適で簡単に質問したり吸収したりできる
- 絵の描き方、対面で聞きやすいと思います
- 教師と直接に会い、講義中のわからないことなどする相談できる。
- 自分はプログラマーを目指しているので、オンラインと比べて、対面の方が先生に聞きやすいし、自分がわからない時も先生に見られます。
- 質問あったらすぐ答えられるから
- 質問があったら、日本語の先生に直接できますから。そして、WIFIの接続は切ることがあるし、先生と他の留学生そん脈ができないかもしれないし、オンライン授業は大変になると思います。
- 質問があったら先生に聞けるからです。
- 質問があったら直接先生に聞けるからです。
- 質問があると、すぐ先生に教えてくれます
- 質問があるとき、先生にすぐ教えていただきます。
- 質問があればすぐ聞いて答えられる。電波が悪いの影響されない、集中できる
- 質問が聞く場合は便利だし、先生の説明を分かりやすいです。
- 質問しやすい聞き取りやすい
- 質問しやすくて、日本人とたくさん話すチャンスがあって、上達できますから
- 質問することは簡単にできるから
- 質問する時簡単に
- 質問を聞きやすいです。
- 実際に会えたら話しやすくて、質問などのやりとりがやりやすいです
- 授業でわからないところがあったら、授業終わったときすぐ先生に聞くことができるから。
- 授業について分からないところがあったら先生に聞けますから
- 授業中に聞きたいことがあれば、すぐ先生に質問されて、便利だと思うからです。
- 先生があれば安心になります質問があればすぐに回答することでさまざまな人が出会えます
- 先生とのコミュニケーションができる
- 先生とより良いコミュニケーションをとることができます
- 先生に口頭で質問し易いからです
- 先生に質問するのが簡単です。
- 対面だったらパソコンを使う授業にはもし困ったら先生に聞いてすぐ問題の解決ができる。
- 対面授業なら先生の言うことだけでなく生徒からもフィードバックがあって、質問と答えのやり取りが合ってよくわかりやすくなる。
- 対面授業は先生に色々な質問ができます。
- 知らないのをその場で質問できるから
- 直接先生と話せて、分からないところがあってもすぐ聞けるから。
- 直接質問が難しくなると思っています。
- 直接質問しても気まずくならない感じです
- 直接質問して目で見ることができ、質問しやすく集中力がさらに高まる
- 直接質問することはできるからです。
- 直接質問をかいてくれた
- 直接受けて、何か質問があれば、すぐ答える、インターネットつながる必要はない
- 直接先生に質問できますので
- 不明なところがあったらすぐに説明をもらいますからです。
- 分からないことあったら先生に質問できるから
- 聞きたい事ある時、すぐ質問を行う。
- 問題があれば、すぐ聞かれます
- 直接で先生の勉強して、理解できないところはすぐ聞くことができます、それに対面で勉強するのは最も楽しいです
- 分からない事は先生に直接聞きます
- いろいろな会話できるから
- 直接先生とコミュニケーションができるからです
- コミュニケーションがよくできる
- 聞きたいことがあればすぐに先生に聞けます。
- 何か疑問に思った時や理解を深めたい時などあった場合は直接先生に聞いて、良かったからです。
- 分からないところがあったら先生に聞くことができますから
- 先生と直接話し合えるから
- 対面授業はオンライン授業により疑問があれば先生に教えてくれたから理解しやすいです。
- 問題があったら、直接先生と相談できるからです。
- 先生と対面で教えていただいたほうが覚えやすいし、わからないところがあった場合先生に直接会って聞いたほうが留学生としてもっと簡単に理解できるんじゃないかなと思います。
- 直接に日本の先生に言葉を聞くのがもっと役に立ちます。
- 先生にすぐに聞けるから。
- 先生とすぐ話し合えるからです
- 対面授業に分からないところがあれば先生に聞きます
- 先生と学生さんのコミュニケーション取りやすいからです。
- 聞きたいことが聞きやすい環境だから
- 可以直接和老師互動(先生と直接やり取りできる)
- 질의응답이 수월해서(質疑応答が難しい)
- 面对面授课老师能够更好的发现你的问题所在并指出去知道怎么指导你(対面式の教師は、あなたの問題をよりよく発見し、指摘し、あなたを導く方法を知ることができます)
- in online classes teacher's expression not much effective also the disturbance i.e internet connectivity also some friends and family are more in online classes. in offline classes teacher's expression are very much beneficial for understanding. also, you should be attentive in active in offline classes. (オンラインクラスでは、教師の表現はあまり効果的ではなく、障害、つまりインターネット接続もあり、一部の友人や家族はオンラインクラスに多くいます。オフラインの授業では、教師の表現は理解に非常に役立ちます。また、オフラインのクラスでアクティブに注意する必要があります。)

(注釈:「なし」の項目は削除、表記は原文ママ、外国語には翻訳を追加)

## 2-1 コロナ禍でのオンライン授業

### 〔友人〕

- ・オンライン授業より対面授業の方が良いと思う対面だったらわからないことがあったらクラスの友達に相談できるから
- ・クラスメイトに会えるから
- ・クラスメイトや先生と話し合うのが便利だからだ。
- ・クラスメイト達と付き合えるからです
- ・皆んな友達と会えるからです
- ・色々な友達と会えるから。
- ・人と対面で交流するのが効果できと思います
- ・人と話す時は直接に会うのがいいと思って
- ・先生と友達と会うことができるから
- ・先生と友達と会うことができます。
- ・他のクラスメイトとの交流ができるからです
- ・対面だと友達と一緒に楽しんで勉強出来るから
- ・対面授業か外にともだちと話すので
- ・対面授業は先生と友達の顔を見て話したり、発表したり、それが楽しいんです。
- ・対面授業は友達会うことができると日本語コミュニケーションが上がると思うから。そして、オンライン授業の時ずっと家にいるから他の人とコミュニケーションがなくなった。対面授業が学校で先生たちになにか困ったことがあったらすぐに聞くことができると思うから。

- ・日本人学生と交流できるからです
- ・友だちに会うことできません
- ・友達がつくりやすいし、雑談出来るし、集中はよりしやすいし、教室の環境はましと思います。
- ・友達ができたり授業に関する質問を先生に自由にすることができます。
- ・友達と先生に会えるから、分からないことがあれば直接聞ける
- ・友達にあいたいから
- ・交流がうまくできる
- ・みんな会いたいので、会話がよくできるから。
- ・教師やクラスメイトとのより良い交流。(Better Interactions with the teacher and classmates)
- ・コミュニケーションを練習します
- ・話せるチャンスが出来ます。
- ・先生やクラスメイトと交流する
- ・オンライン授業ならクラスメイトとは交流が難しいと思います
- ・You can communicate with other citizens by using Japanese language. (日本語を使って他の人とコミュニケーションをとることができます。)
- ・面対面上課更能融入上課の氛圍且下課也能跟同學用日文交流 (対面授業はより授業の雰囲気に溶け込むことができ、授業後にクラスメイトと日本語でコミュニケーションをとることができます)

(注釈:「なし」の項目は削除、表記は原文ママ、外国語には翻訳を追加)

### 〔実習〕

- ・クラスメイトとお互いに練習することができます。
- ・今、歯科衛生士になるための専門学校で勉強しているから、たくさん実習があって対面授業の方が効果的だと思います。
- ・自動車整備の大切なのは実習することだから。
- ・実際に先生がお菓子が作っていることが見えるから
- ・実際のをさわれますから
- ・実際触ったり先生と話することができるから
- ・実習があるから
- ・実習ができるから
- ・実習が多いですから
- ・授業によるんですが、実習でしたら対面で行われているべきだと思います
- ・声聞き取りやすい、調理技術や料理などがオンラインで行うと試食ができず、先生からの指導も難しい
- ・製菓専門学校なので、対面授業のほうがいい
- ・専門学校なので、実習とかは対面がいいから
- ・体で感じる体験がもっと楽しい

- ・調理学校なので、作っている様子や、料理の香り色など実際見た方が効果的に学べるから
- ・調理師なので
- ・調理師を目指すので、対面授業が覚えやすいと思う
- ・調理専門学校なのでインターネットで見るとより実習がもっと重要だから
- ・料理学校は実習が大事だから
- ・直接に出来る
- ・料理だから当たり前のことになります。
- ・デザインの色々作品があるので、オンラインで大体できないと思う。けどオンライン授業もういいと思う
- ・実技の授業は対面しないと伝わりにくい
- ・絵を描くのが好きで、家で練習できますが、学校で授業を受けると、もっと多くの収穫ができると思います。体験感も感じられます。
- ・手作業が多いから、
- ・プロダクトデザインを勉強しているので、ほぼ手作業です。対面の方がわかりやすいです。

(注釈:「なし」の項目は削除、表記は原文ママ、外国語には翻訳を追加)

## 2-1 コロナ禍でのオンライン授業

### 〔接続環境〕

- ・インターネットの接続がたまに途切れて、わからないことを説明だけでは伝わっていない時があると思います。
- ・インターネットは良く繋がらない場合があるから
- ・オンライン授業をしたら、インターネットの接続が悪いや集中できない等色々な問題が発生するかもしれない。対面授業は先生と学生は直接話しますから、勉強したくても、勉強しなければならない。すると、勉強のことも良くなると思います。
- ・通信の乱れ。音声トラブル等が起きやすいので集中できないと思うからです。
- ・ネットの状態が不安定で、よく聞こえないなど様々な原因があります

- ・対面授業はより良く、人々と直接会い、交流し、特にデータネットワークの悪影響を受けません。
- ・ネット通信環境が悪く影響が出てくるからです。
- ・インターネットが弱いからです
- ・オンライン授業は時々インターネットの信号が悪いだから
- ・オンライン授業は電波が悪い時には聞き取れなかったり、質問をしたい時にも難しいから。

(注釈:「なし」の項目は削除、表記は原文ママ、外国語には翻訳を追加)

### 〔その他〕

- ・すき
- ・日本語の話し合いができるから
- ・留学生皆さんのため。
- ・今は授業を受けています、実感を湧きます。
- ・学校の雰囲気は大切です。
- ・日本の学校生活体験したい
- ・便利だから
- ・オンライン授業がざらい
- ・対面の方はいいと思うから
- ・オンラインの授業が好きじゃない
- ・楽しい
- ・話しやすくなるから
- ・研究を学び、知ること。
- ・楽しいですから
- ・オンラインは楽しくないです
- ・生先は生徒の進捗状況を確認できます。
- ・即時性
- ・目と目を合わせて表現する、直接的な感情的な接触は、最も現実的で直接的な言語生活を送ることができます。(google翻訳)
- ・対面授業の効果もっと良いと思います理由あまりわからないんです
- ・オンラインをインターネットから勉強するからいつどうなるのはわからないです。
- ・簡単に学べる
- ・自分の身だしなみが見せるから
- ・オンライン授業は学習の雰囲気が感じられません。
- ・オンラインで勉強すると困ること多いかもしれないと思います。
- ・オンラインはたくさんの制限ありますから
- ・雰囲気が大事
- ・ちゃんと向こうの性格などに理解できるから。
- ・対面授業わベストです。
- ・I can't play the game。(ゲームをプレイできません。)
- ・It is more engaging (より魅力的です)
- ・线下授課更有效一点(オンライン授業はより効果的です)
- ・更有效率(もっと効率的)
- ・能更有效果的の休息(より効果的な休息)

- ・Online classes were non effective at all(オンライン授業は全く効果がなかった)
- ・Rencontrer des Japonais et voir le pays.(日本人に会い、国を見てください。)
- ・Face to face classes is more effective than online class because the student can't get attention in online (対面授業はオンライン授業より効果的)
- ・Face-to-face class is more effective than online class (オンライン授業よりも対面授業の方が効果的)
- ・Efficient (効率的)
- ・Face to face class is more interactive and active in mind for hearing the accents and mutual understanding.(対面式のクラスは、アクセントを聞き、相互理解するために、よりインタラクティブでアクティブです。)
- ・For better communication (より良いコミュニケーションのために)
- ・Because face to face interaction is the standard way of communicating between humans using a language and in person classroom mimic it exactly while online class doesn't. Also sound and intonations are always distorted by numerical devices.(対面式のやり取りは、言語を使用して人間同士がコミュニケーションをとる標準的な方法であり、対面式の教室ではそれを正確に模倣していますが、オンラインクラスではそうではありません。また、音とイントネーションは常に数値デバイスによって歪められています。)
- ・Physical interaction is way better.(物理的な相互作用ははるかに優れています。)
- ・這樣會比較認真(もっと深刻になる)
- ・オンラインお金もったいない
- ・オンライン授業がほとんどない
- ・コミュニケーションは不便ですから
- ・もっと楽しい
- ・学校に来たいから
- ・言うまでもない
- ・実感があるから

(注釈:「なし」の項目は削除、表記は原文ママ、外国語には翻訳を追加)

## 2-1 コロナ禍でのオンライン授業

### 〔その他〕

- ・実際に見ながら勉強するのが役に立つから
- ・授業の雰囲気があるから
- ・色々なことを勉強出来ます
- ・先生は生徒の進捗状況を確認できます。
- ・対面は楽しい
- ・対面授業がはかりやすいから
- ・対面授業のほうが楽しい
- ・直接の方がいいと思います
- ・当たり前のことからです
- ・勉強の体験がいいと思う
- ・教室での学習は、生徒と教師がお互いをよりよく知るのに役立ちます。これにより、教師は生徒を知り、彼らの長所と短所をよりよく評価し、メンターとして行動し、生徒のキャリアの可能性を導くことができます。
- ・学校に行きたいから
- ・新型コロナ禍でオンライン授業を希望、深刻でなければ学校での授業が面白い
- ・実感があります
- ・学校の教育資源を利用できる
- ・直感
- ・学で勉強するためにわかります。
- ・学校の雰囲気が好きだから
- ・効果がいいと思う
- ・私の希望に合わせてと思います
- ・直接化
- ・印象的があるため
- ・印象的がある

- ・対面授業で勉強することは、学生が教師や他の学生とより緊密に交流できるため、オンライン授業に比べて個人の成長においてより大きな利点があります。オンライン授業は現実と断絶し、歓迎されない孤独感を与えることができる。対面授業は、生徒たちがリアルタイムで、より正確に間違いを正すのに役立ちます。
- ・みんなで合います。
- ・実感
- ・会話機会がもっとあります。
- ・効率がいい
- ・授業内容もつとはっきり
- ・直接話した方がいい
- ・もっと面白い
- ・面と向かう
- ・代入感がある
- ・よく学ぶと思います
- ・いい
- ・オンライン授業は中国もいいです
- ・面白いでしょう
- ・言語の勉強から、対面の授業が必要だと思います。
- ・効率的
- ・直接的な日本語を話すことができます。
- ・オンラインでする授業は限界があると思います。
- ・効率的だと思う
- ・オンライン授業はあまり効果がないから
- ・確かに参加したという実感がある

(注釈:「なし」の項目は削除、表記は原文ママ、外国語には翻訳を追加)

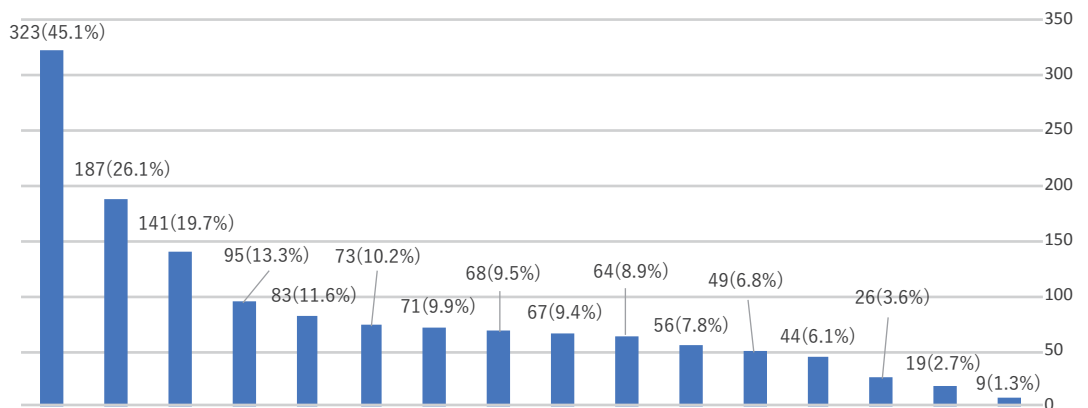
## 2-2 コロナ禍の留学生活

コロナ禍の留学生活で留学生が困っていることとして、前回調査と同じく「お金(学費や生活費など)が足りない(45.1%)」が最多、次点で「コミュニケーションがとれない(日本語力が足りない)」が26.1%、「特にない(19.7%)」と続く。語学力やコミュニケーションに対する課題の割合が前回調査よりも相対的に増えているものの、困っている留学生の割合は総じて減少傾向にある。

在籍学校種別では大学・短期大学在籍者が他と大きく異なり、「お金(学費や生活費など)が足りない(87.5%)」「アルバイトが忙しくて勉強できない(37.5%)」「学校の授業のレベルについていけない(37.5%)」といった数値で平均を大きく上回っている。回答母数が少ないものの、他在籍段階よりも金銭面、学力や日本語力などの課題が深刻な様子が伺える。

◇今困っていることは何ですか?(最大3つまで選んでください)

回答数：716件



		お金(学費や生活費など)が足りない	コミュニケーションがとれない(日本語力が足りない)	特にない	就職活動をしているがなかなか採用されない	スポーツや旅行ができない	新型コロナウイルスが、次いつまた広がるのかと思うと怖い	孤独(ひとりぼっち)だ	アルバイトが忙しくて勉強できない	健康が心配	アルバイトが見つからない	学校の授業のレベルについていけない	人間関係がうまくいかない	相談相手がない	滞在資格が切れそう	生活習慣が合わない	その他
総計 (n=716)		45.1%	26.1%	19.7%	13.3%	11.6%	10.2%	9.9%	9.5%	9.4%	8.9%	7.8%	6.8%	6.1%	3.6%	2.7%	1.3%
在籍学校種別	日本語学校(専門学校の日本語コース等をふくむ) (n=236)	41.1%	33.5%	17.8%	5.9%	9.3%	7.2%	11.0%	5.9%	7.2%	15.7%	6.8%	5.1%	6.4%	3.0%	3.8%	0.8%
	専門学校 (n=453)	45.7%	22.5%	21.4%	17.0%	12.6%	11.7%	9.3%	11.0%	9.9%	5.3%	7.9%	8.2%	6.2%	3.8%	2.0%	1.5%
	専門職大学・専門職短期大学 (n=14)	71.4%	28.6%	7.1%	21.4%	21.4%	21.4%	7.1%	7.1%	28.6%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%
	大学・短期大学 (n=8)	87.5%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	25.0%	37.5%	0.0%	25.0%	37.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	大学院 (n=4)	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	その他 (n=1)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

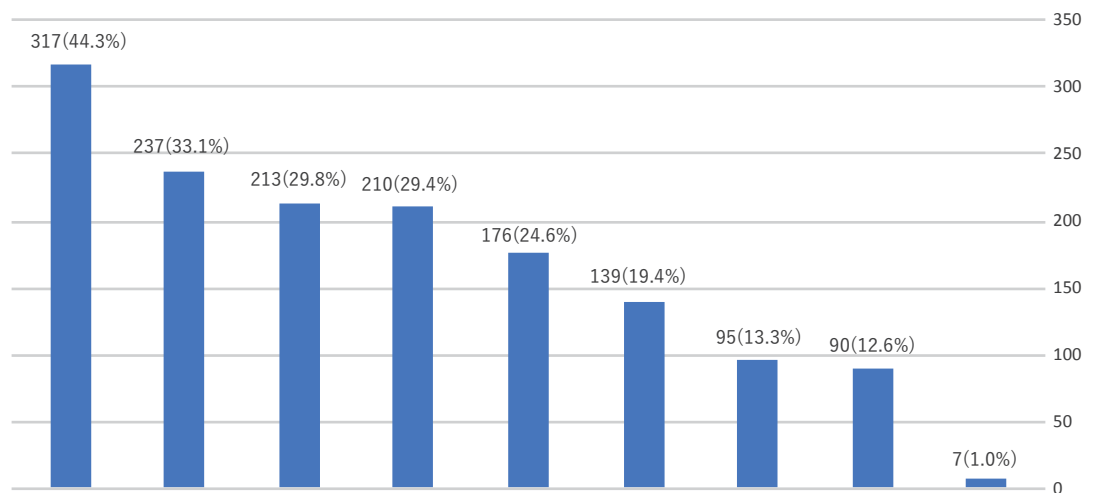
## 3-1 留学生の望む渡日前サポート

渡日前に欲しかったサポートで最も多かった回答は「日本語学校や大学・専門学校の情報サポート」が44.3%で最多となっており、前回調査より15ポイント近く増加した。また前回最多の「留学費用(33.1%)」は20ポイント以上減少した。

出身国・地域別に比較をしてみると、「日本語学校や大学・専門学校の情報サポート」はベトナムやネパール、ミャンマーで平均を上回り、進学情報が不足していると言える。「留学費用」ではベトナム、韓国、台湾、インドネシア、ミャンマーなどで高い数値を示しており、アジア圏で金銭面での課題感が強い。また「留学手続きのサポート」ではネパールやインドネシア、ミャンマーで平均を大きく上回り、近年入国が増えている国におけるサポートが十分でない可能性がある。

◇日本に来る前にどんなサポートが欲しかったですか？  
(最大3つまで選んでください)

回答数：715件



		日本語学校や大学・専門学校の情報サポート	留学費用	日本語学習のサポート	住みやアルバイトなどの生活情報のサポート	留学手続きのサポート	留学希望者同士の交流	特にない	大学や専門学校の体験授業	その他	
総計		(n=715)	44.3%	33.1%	29.8%	29.4%	24.6%	19.4%	13.3%	12.6%	1.0%
出身国・地域別	中国	(n=175)	42.9%	31.4%	37.7%	25.7%	23.4%	23.4%	13.7%	15.4%	0.0%
	ベトナム	(n=166)	47.6%	35.5%	24.1%	28.9%	18.1%	19.3%	11.4%	13.3%	0.0%
	ネパール	(n=49)	53.1%	22.4%	36.7%	34.7%	34.7%	18.4%	14.3%	10.2%	0.0%
	韓国	(n=55)	23.6%	38.2%	21.8%	16.4%	16.4%	14.5%	21.8%	10.9%	3.6%
	台湾	(n=68)	44.1%	39.7%	30.9%	44.1%	27.9%	19.1%	8.8%	13.2%	4.4%
	スリランカ	(n=2)	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	インドネシア	(n=33)	39.4%	30.3%	27.3%	27.3%	36.4%	24.2%	15.2%	6.1%	6.1%
	ミャンマー	(n=32)	53.1%	37.5%	21.9%	28.1%	40.6%	12.5%	15.6%	3.1%	0.0%
	タイ	(n=8)	37.5%	25.0%	12.5%	50.0%	12.5%	12.5%	25.0%	25.0%	0.0%
	バングラデシュ	(n=5)	60.0%	0.0%	60.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%
	アメリカ	(n=7)	57.1%	14.3%	42.9%	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
	ヨーロッパ	(n=9)	11.1%	0.0%	22.2%	22.2%	11.1%	11.1%	44.4%	0.0%	0.0%
その他	(n=106)	49.1%	36.8%	28.3%	32.1%	27.4%	17.0%	8.5%	14.2%	0.0%	



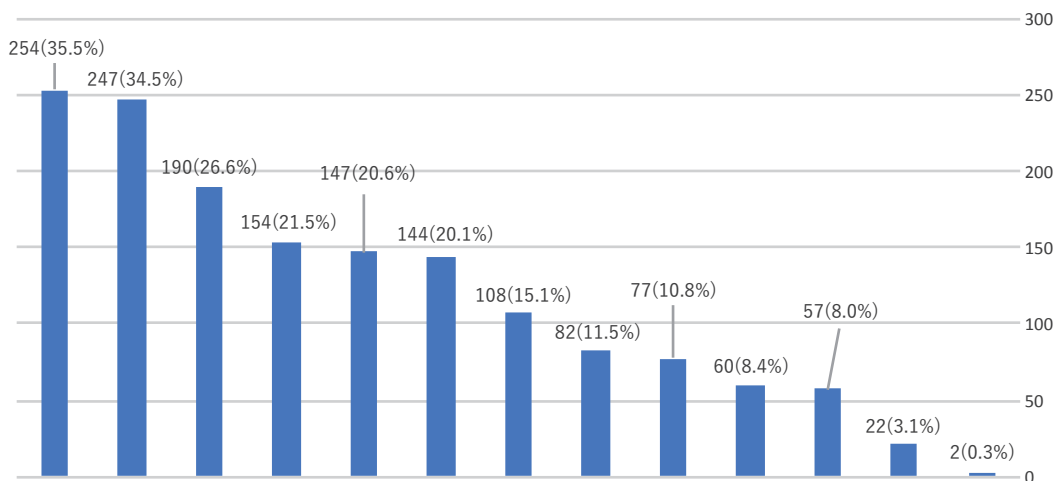
## 3-2 留学生が今求めるサポート

来日後の現在、留学生が求めているサポートについては「お金のサポート(奨学金など)」が最も多く35.5%、ほぼ同数で「就職の相談」が34.5%という結果だった。次点で「日本語のコミュニケーションを教えてほしい(26.6%)」「進学相談(21.5%)」「生活情報のサポート(20.6%)」など、これからの生活につながるサポート希望が上位に集まった。

在籍学校種別に見ると、日本語学校では進学やアルバイトについてのサポート、専門学校では就職についての数値が高く、大学・短期大学や専門職大学・専門職短期大学ではお金や就職、コロナ関連についての数値が高くなっている。それぞれの学校種別ごとに異なる課題解決が求められていると言える。

◇今、どんなサポートが必要ですか?(最大3つまで選んでください)

回答数：715件



		お金のサポート(奨学金など)	就職の相談	日本語のコミュニケーションを教えてほしい	進学の相談	生活情報のサポート	日本語学習のサポート	特にない	留学生同士の交流ができる場所がほしい	相談できる相手や場所	アルバイトを紹介してほしい	学校以外で勉強を教えてほしい(補習)	ワクチン接種・PCR検査について教えてほしい	その他
	総計 (n=715)	35.5%	34.5%	26.6%	21.5%	20.6%	20.1%	15.1%	11.5%	10.8%	8.4%	8.0%	3.1%	0.3%
在籍学校種別	日本語学校(専門学校の日本語コース等をふくむ) (n=235)	33.2%	22.6%	26.4%	41.3%	23.8%	26.4%	9.8%	11.9%	6.4%	14.9%	8.5%	3.4%	0.0%
	専門学校 (n=453)	36.2%	41.5%	27.2%	11.5%	18.8%	17.0%	17.9%	10.4%	13.2%	5.5%	7.9%	2.6%	0.4%
	専門職大学・専門職短期大学 (n=14)	42.9%	7.1%	14.3%	14.3%	28.6%	28.6%	14.3%	35.7%	14.3%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%
	大学・短期大学 (n=8)	50.0%	50.0%	12.5%	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%
	大学院 (n=4)	50.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他 (n=1)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

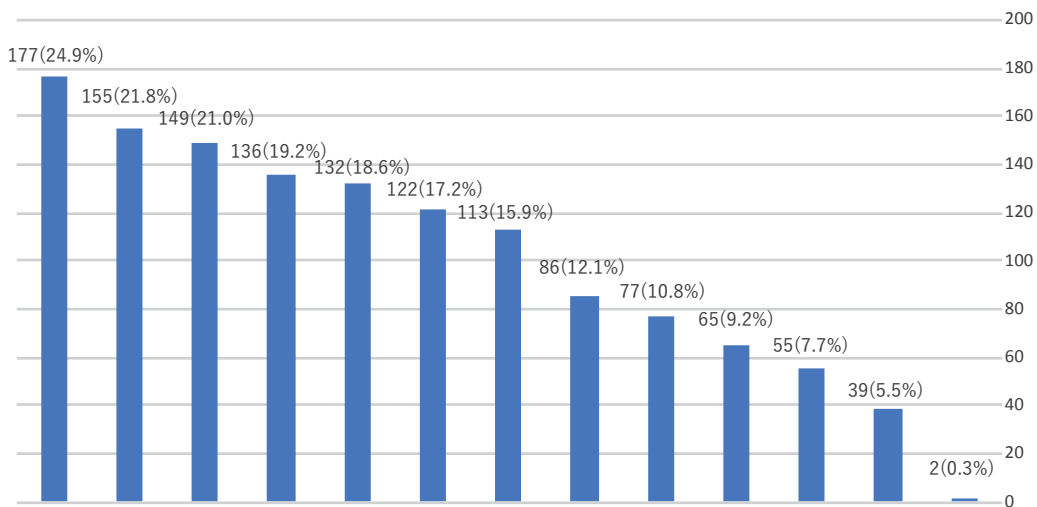


## 3-3 留学生の満足度が高いサポート

これまでに自身が受けた中で良かったと感じたサポートは「特にない(24.9%)」が最多、「進学の相談(21.8%)」「生活情報のサポート(21.0%)」を上位に、回答が分散する結果となった。

在籍学校種別で見ていくと、日本語学校では「進学の相談(30.5%)」「生活情報のサポート(28.3%)」「日本語学習のサポート(26.2%)」などが高い数値となっており、日本語学校が日本での生活基盤を支えるサポートを行っていることがわかる。専門学校では「就職の相談(23.3%)」、大学・短期大学では「進学の相談(62.5%)」が高く、入学前のサポートを含め、それぞれの学校種別での特長的なサポートを評価する留学生が多いと言える。また専門職大学・専門職短期大学ではお金のサポートの満足度が高い結果となった。

◇これまでに受けたサポートの中で、良かったことはなんですか?(最大3つまで) 回答数：710件



		特にない	進学の相談	生活情報のサポート	日本語のコミュニケーション	就職の相談	日本語学習のサポート	お金のサポート(奨学金など)	相談出来る相手や場所	アルバイトの紹介	ワクチン摂取・PCR検査について	留学生同士との交流ができる場	学校以外での勉強(補習)	その他	
総計	(n=710)	24.9%	21.8%	21.0%	19.2%	18.6%	17.2%	15.9%	12.1%	10.8%	9.2%	7.7%	5.5%	0.3%	
在籍学校種別	日本語学校(日本語学校の日本語コース等をふくむ)	(n=233)	21.5%	30.5%	28.3%	18.5%	9.9%	26.2%	8.6%	17.2%	9.9%	1.3%	6.0%	3.9%	0.4%
	専門学校	(n=450)	27.3%	16.4%	17.6%	19.8%	23.3%	12.4%	18.9%	8.9%	11.6%	12.7%	8.7%	6.4%	0.2%
	専門職大学・専門職短期大学	(n=14)	21.4%	28.6%	14.3%	7.1%	14.3%	28.6%	42.9%	21.4%	7.1%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
	大学・短期大学	(n=8)	0.0%	62.5%	12.5%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%
	大学院	(n=4)	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	(n=1)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

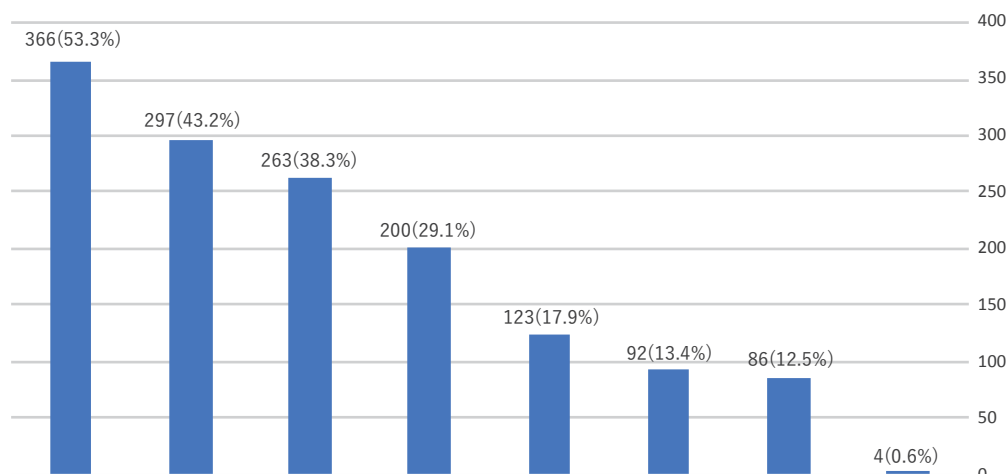
## 3-4 留学生が今後求めるサポート

今後、希望進路先にしてほしいサポートについては、今求めるサポート同様に「奨学金などのお金のサポート」が53.3%と最多だった。在籍学校種別に見ると専門職短期大学・専門職大学が最多の71.4%、短期大学・大学、日本語学校と続く。ただし前回調査と比較すると、「学費の減額や分納(43.2%)」同様に金銭面の課題は減少傾向にある。

「日本人とコミュニケーションをとれる交流の場(38.3%)」を求める声は、「大学・短期大学(50.0%)」「大学院(50.0%)」希望者が平均を大きく超える数値となっている。さらに高度な日本語能力が求められる進路を希望している学生がコミュニケーション不足を感じていることが伺える。

### ◇希望進路先(大学院・大学・専門学校・企業)にしてほしいサポートは何ですか？ (最大3つまで選んでください)

回答数：687件



		奨学金などのお金のサポート	学費の減額や分納	日本人とコミュニケーションをとれる交流の場	日本語学習のサポート	住まいの確保など生活面のサポート	入学試験の種類を増やしてほしい	母国語や英語などでのオリエンテーション	その他	
総計		(n=687)	53.3%	43.2%	38.3%	29.1%	17.9%	13.4%	12.5%	0.6%
在籍学校種別	日本語学校(専門学校の日本語コース等をふくむ)	(n=223)	60.1%	54.7%	33.2%	33.2%	11.2%	18.4%	13.0%	0.0%
	専門学校	(n=437)	49.2%	37.3%	40.7%	27.2%	21.3%	11.0%	11.9%	0.9%
	専門職大学・専門職短期大学	(n=14)	71.4%	28.6%	35.7%	28.6%	14.3%	7.1%	21.4%	0.0%
	大学・短期大学	(n=8)	62.5%	62.5%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	12.5%	0.0%
	大学院	(n=4)	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	(n=1)	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

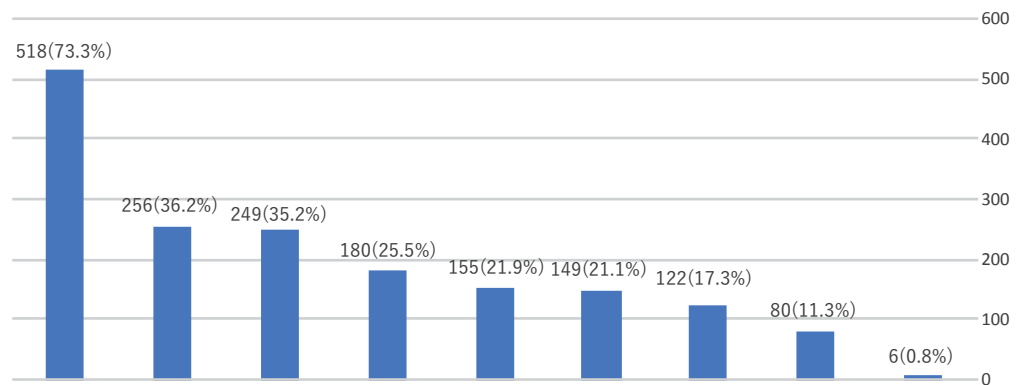
## 4-1 将来の希望

将来の希望については、「日本で働き続けたい」が73.3%と最多で、全ての国で高い割合となっている。

「学んだ日本語を活かしたい(36.2%)」の回答を出身国・地域別にみると、台湾やヨーロッパ、バングラデシュで平均より高く、「学んだ専門技能・専門知識を活かしたい(35.2%)」では、台湾やスリランカ、インドネシアの数値が高くなっている。また「グローバルに働きたい(25.5%)」ではインドネシア、タイの数値が高くなっており、学びの目的が国によって異なることがわかる。

◇将来の希望は何ですか?(最大5つまで選んでください)

回答数：707件



		日本で働き続けたい	学んだ日本語を活かしたい	学んだ専門知識を活かしたい	日本で働いたあと母国に帰り、その経験を活かして働きたい	グローバルに働きたい	母国と日本をつなぎたい	母国に帰って働きたい	母国の発展に役立ちたい	その他	
総計		(n=707)	73.3%	36.2%	35.2%	25.5%	21.9%	21.1%	17.3%	11.3%	0.8%
出身国・地域別	中国	(n=173)	72.8%	34.1%	35.8%	19.1%	12.1%	15.0%	20.2%	8.7%	0.6%
	ベトナム	(n=162)	75.9%	32.7%	26.5%	29.0%	17.9%	19.1%	12.3%	11.7%	0.6%
	ネパール	(n=49)	65.3%	34.7%	28.6%	42.9%	30.6%	20.4%	12.2%	10.2%	0.0%
	韓国	(n=54)	59.3%	20.4%	27.8%	18.5%	31.5%	27.8%	25.9%	3.7%	1.9%
	台湾	(n=68)	73.5%	52.9%	42.6%	20.6%	19.1%	27.9%	29.4%	17.6%	1.5%
	スリランカ	(n=2)	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	インドネシア	(n=32)	75.0%	18.8%	56.3%	34.4%	43.8%	31.3%	6.3%	12.5%	0.0%
	ミャンマー	(n=33)	72.7%	27.3%	30.3%	48.5%	21.2%	30.3%	9.1%	24.2%	0.0%
	タイ	(n=8)	75.0%	25.0%	12.5%	50.0%	37.5%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%
	バングラデシュ	(n=5)	100.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%
	アメリカ	(n=7)	100.0%	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%
	ヨーロッパ	(n=9)	66.7%	44.4%	11.1%	11.1%	33.3%	33.3%	11.1%	0.0%	11.1%
	その他	(n=105)	77.1%	52.4%	50.5%	20.0%	28.6%	19.0%	17.1%	10.5%	1.0%

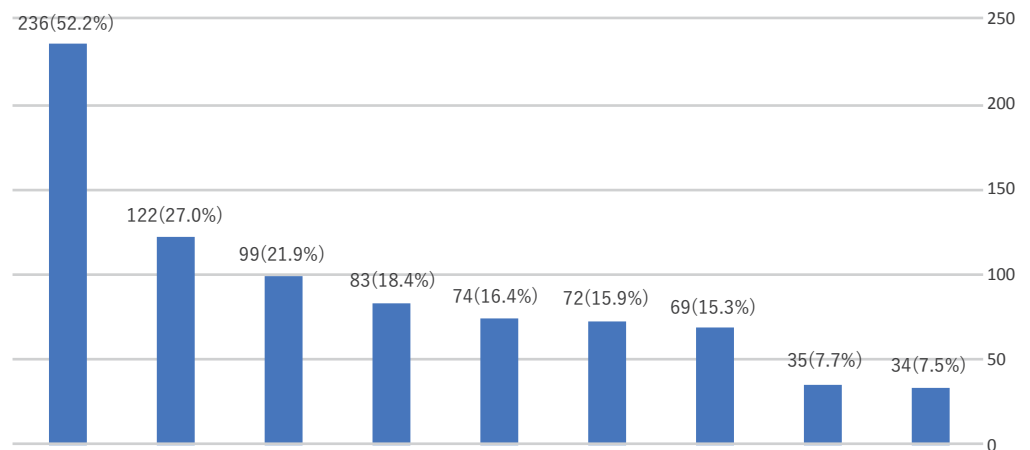
## 5-1 留學生活の断念

留學中断にかかわる要因で最も多いのは「経済面(金銭面)の問題」で52.2%。前回調査比では割合が減少しているものの大きな要因となっている。

在籍学校種別ごとに見ていくと、専門学校では「就職活動をしてでも採用されない(32.7%)」が平均より少し高いものの課題感は比較的少ない。反面、大学・短期大学では「経済面(金銭面)の問題(75.0%)」や「勉強が難しくて学校の授業についていけない(50.0%)」「授業のやり方が合わない(50.0%)」などが平均よりも高い数字となっており、他の学校種別と比較してさまざまな課題が見える。

◇留學を途中でやめて母国へ帰ることを考えている人へ質問です。  
その一番大きな理由は何ですか?(最大3つまで選んでください)

回答数：452件



在籍学校種別		件数	経済面(金銭面)の問題	就職活動をしてでも採用されない	新型コロナウイルスにかかりたくない	勉強が難しくて学校の授業についていけない	授業のやり方が合わない	母国(親)から呼び戻された	自分の行きたい学校に合格しない	授業の内容が不満	その他
総計	(n=452)		52.2%	27.0%	21.9%	18.4%	16.4%	15.9%	15.3%	7.7%	7.5%
日本語学校(専門学校等の日本語コース等をふくむ)	(n=157)		59.9%	18.5%	20.4%	17.8%	12.1%	14.6%	17.2%	4.5%	7.0%
専門学校	(n=278)		47.8%	32.7%	20.9%	18.7%	18.0%	17.3%	13.7%	9.7%	8.3%
専門職大学・専門職短期大学	(n=11)		54.5%	18.2%	54.5%	9.1%	27.3%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%
大学・短期大学	(n=4)		75.0%	0.0%	25.0%	50.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
大学院	(n=1)		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
その他	(n=1)		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

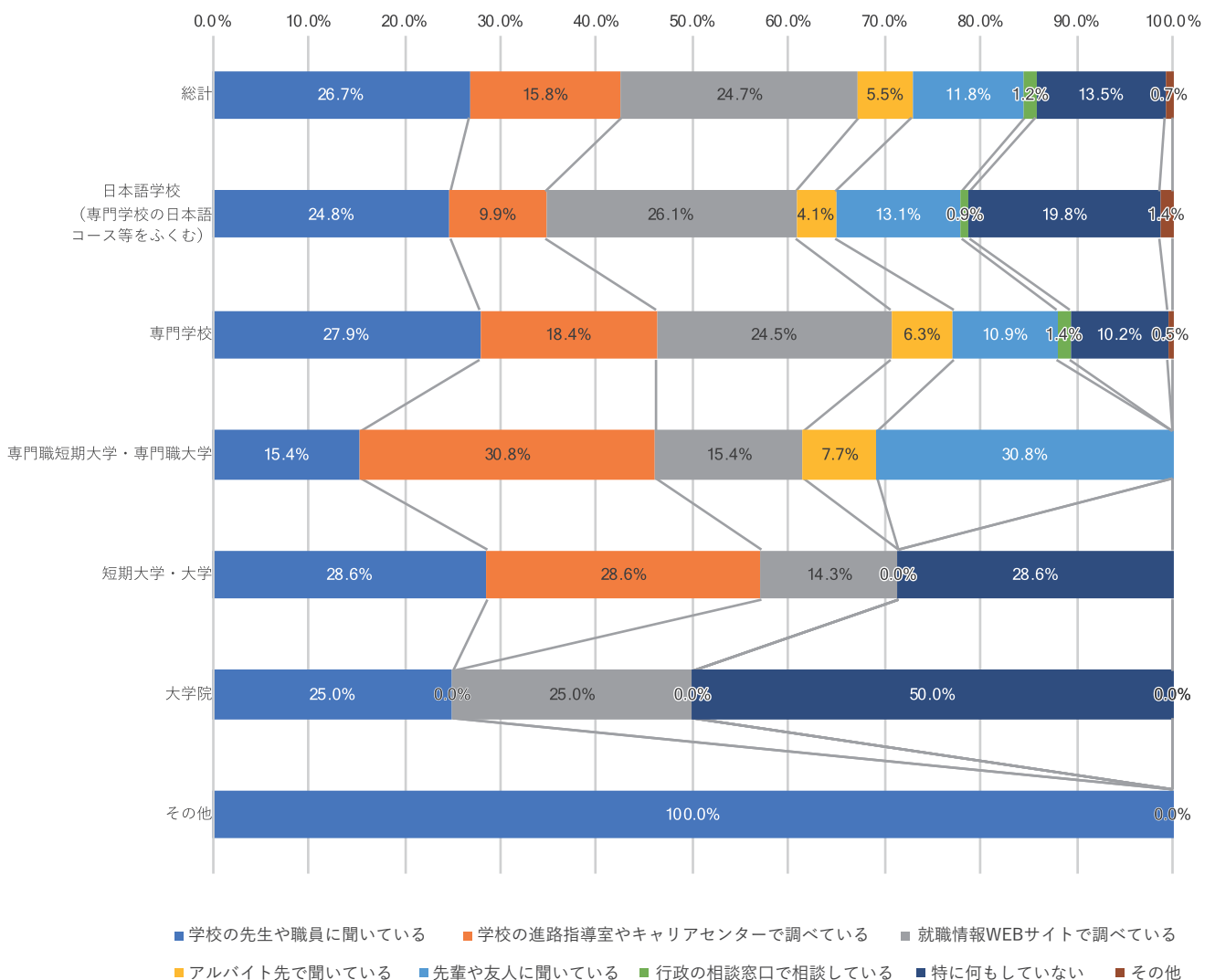
## 6-1 留学生の就職活動

就職活動の情報を得る手段としては「学校の先生や職員に聞いている(26.7%)」が最多、「就職情報WEBサイトで調べている(24.7%)」「学校の進路指導室やキャリアセンターで調べている(15.8%)」「先輩や友人に聞いている(11.8%)」と続く。学校内で情報収集する留学生が4割以上いる一方で、4人に1人は就職情報WEBサイトで主体的に情報収集していることがわかる。

在籍学校種別ごとにみると、専門学校では平均と同等の分布となっており、幅広い手段で情報収集していることがわかる。短期大学・大学では教員や進路指導室を利用する留学生が6割近くで、WEBサイトは14.3%にとどまっており、教育機関のサポートを積極的に利用する様子が伺える。

### ◇どうやって就職の情報を調べていますか？

回答数：688件



## 7-1 今後の日本留学志望者へ

◇留学生を送っていて、伝えておきたいことや期待することなどを、自由に書いてください。  
(特に思いつかない人は、書かなくてもいいです)

回答数：100件

### 〔アドバイス〕

- 日本語を取り組んだほうがいいです
- 日本に来たいなら、奨学金をはじめ、大阪大学や東京大学に入学することを目指した方がいい
- しっかり調べて、いい学校を探してください
- がんばって
- 楽しく勉強しよう
- 言葉は大事だと思う
- 日本では自分の母国と文化の違いがあるし違う社会的なルールがあるべきです。皆様もそれをしっかり覚えて日本の生活をお楽しんでください。
- がんばって
- 日本に留学する前に、日本語を集中して、頑張って勉強してください。
- 最初は本当に辛かったり、毎日帰りがたかったけど、それを乗り越えたらどんどん楽しくなるのだろう
- 頑張りましたよ
- 将来の生活はもっと大変じゃありません。
- 皆んなさん、頑張ってください。
- 日本に行くなら、自分で頑張る。
- 留学生として学んだことが、最高の自分を育てるのに役立つことを願っています。
- 慣れている環境から抜き出す覚悟が必要です
- 日本に来て日本語を勉強することは大事だと思います。そして、ずっと日本で働きたいの資格を合格することもとても大切です。

- 日本語の高いレベルまで勉強した方がいい
- 日本語の高いレベルまで勉強した方がいい
- 日本語はむずかしくけど楽しい。がんばれ
- 頑張れば出世できる
- 留学生が大変だと思うだろうが、みんな将来のために一緒に頑張らしよう!
- 何も考えずに日本に来るのは良くないと思います。必ず自分が何か「目指して」いるのかを探し、その目指しているものに進んでください。
- ワンピースを見なさい!!!
- クラスメイトと良い仲してください。
- にほんごがたいせつです、ちゃんとべんぎょうしてください
- 夢を叶えるために自分のやりたいことを頑張ってやってください。
- せんせいのいうこと、ちゃんときいてやってくださいね。またにほんごもがんばってべんぎょうしてください。
- 日本語頑張って勉強しましょ
- Make your Japanese language perfect so you can tackle with problem (問題に取り組むことができるように、日本語を完璧にしましょ)
- 留学生として文化的なことやいろいろな理由で難しいことはありますが、苦労して得た結果は、より楽しいと思うので、どんなに苦労してもあきらめないで頑張ったほうが良いと思います。

(注釈:「なし」の項目は削除、表記は原文ママ、外国語には翻訳を追加)

### 〔生活〕

- 留学できてよかった。辛いことも楽しいことも全部含めていい思い出になりそうだ。両親に感謝!!
- 友達ができてないなら日本日常生活めっちゃ苦しかった
- 社会との接点がないです。
- 静かな環境があるけど、実は全然違う
- 留学を通じて色んな人に出会い新しい自分を見つけることができた。
- 英語も使える所を増やせばいいと思っています
- 縦社会はやばすぎ
- 留学生が少ない学校は留学生のサポートについてやり方が分からないので、留学生の奨学金、相談の場所(サポートセンターみたいな所)が欲しい

- 日本語能力まだ上手くないかったし、文化が間違いですが少し食べた変です。
- 毎日が楽しいし、交流場を増やして欲しい
- we want to play sports too we are always studying so sometimes we feel down and bored in class So, we want to have sports. (私たちがスポーツをしたい。私たちはいつも勉強しているので、クラスで落ち込んだり退屈したりすることがあります。だから、私たちはスポーツをしたいのです。)

(注釈:「なし」の項目は削除、表記は原文ママ、外国語には翻訳を追加)

## 7-1 今後の日本留学志望者へ

### 〔志望・目標〕

- ・関西弁を勉強したいw
- ・大阪大学入りたい!
- ・試験を合格します
- ・行きたいの大学を入りたいです
- ・勉強終わったらはたらきたいです。
- ・希望可以找到合適的學校繼續學習繪畫, 並且在日本找到適合自己的工作, 發揮自己的所學(絵の勉強を続けるのに適した学校を見つけて、日本で自分に合った仕事を見つけて、学んだことを生かしたいと思います)
- ・希望考上理想的大学, 日语可以没有障碍的沟通, 交到更多外国朋友(理想的大学に入学して、日本人が障害なくコミュニケーションでき、外国人の友達が増えることを願っています)
- ・日本の文化を学ぶ
- ・想更好的完成学业(勉強をもっとうまくやりたい)
- ・希望生活越来越好(人生が良くなることを願っています)
- ・日本人の友達ほしい
- ・将来の日本の生活が期待します
- ・想要認識很多日本朋友(たくさんの日本人の友達に会いたい)

- ・留学生活をして各国の人たちとコミュニケーションをしたいと思います。
- ・日本しかできない思い出が作りたいです。
- ・I want I could use my knowledge when I'm return to my home county. I want to make use of the japanese I have learned.(母国に戻ったときに知識を活用できればと思います。習った日本語を生かしたいです。)
- ・I just want to secure Job in Japan. I have 5+ year experience in Research and Development (Embedded System) I just want to learn deeply from this domain and explore maximum about it.(日本での仕事を確保したいだけです。私は研究開発(組み込みシステム)で5年以上の経験があります。この分野から深く学び、最大限に探求したいと思っています。)
- ・I want to work here and want to graduate (ここで働きたい、卒業したい)
- ・将来は、安定の仕事を見つけて長生きしたい、教育も交通機関も発達していた日本で、そんな環境で育った子供を産みたいです。
- ・日本で就職

(注釈:「なし」の項目は削除、表記は原文ママ、外国語には翻訳を追加)

### 〔経済関連〕

- ・全員の留学生は金持ちとは限りません。頑張っ、やっと日本へ留学できてと言う子もいます。そこで、お金の援助や日本語サポート(ふりがなとか?) それがあったら非常に助かります。学校側は“寝坊したらダメ”など言っている自分で頑張って学費を払って、学費が高いからそう言うはめになるんじゃないですか(アルバイトやフリーランスなどをやっている)就活動にうまくいけないのは差別されたり、特定技能試験などの効果がないからのじゃないんですか?面接で人の能力や技術など把握できるはずと思うんですが、それができないんですしたら、面接の意味ってなんですか?職場で差別されているより、上司の期待を裏切るより、面接に落ちた方がいいと思いますもちろん、面接に落ちたいわけではないんですが、長い期間で精神が苦しいより、頑張っ居場所を探したいと思います。
- ・奨学金関連情報を集めて見られるものを作ってくださいがあればありがたいです。

- ・学費が高すぎることに比べて学ぶことが少ないようだ。たみに留学生を無視する人もいるので気分がよくない。他の留学生にお勧めしたくない
- ・奨学金を期待する
- ・お金
- ・奨励金
- ・アルバイトがほしいです
- ・一番問題はやはりお金関係の事です。インドネシアでは、奨学金を受け取る際に、返還や再支払いの必要がありません。日本では、奨学金は借金のようなもので、雇用関係のほかに、学校に行ったお金も返還されます。

(注釈:「なし」の項目は削除、表記は原文ママ、外国語には翻訳を追加)

### 〔その他〕

- ・ありがとうございます
- ・大丈夫です。
- ・いま「来てよかった」と思います
- ・編入できる大学のリストが欲しい
- ・就職時の年齢差別が気になります
- ・日本人と一緒に生活しています。
- ・就職に関することで(その仕事に務められるビザの変更ことで)もっと自由にさせてほしい。国から大学卒業してきた人たちに日本語学校終わったらず就職できるように助けてほしい。特定技能ビザで日本で決まってる期間だけでなく自由に長く仕事ができる承認がほしい。学校から色々騙したり、隠したり、情報教えなかったり、しないでほしい。来日して一番最初から漢字をしっかりと学ばせてほしかった。
- ・明日はもっと良い
- ・外国人にとって差別を無しにして欲しいんです

- ・Actually I chose to study in Japan in this language school is not only because I want to learn Japanese better, but also to travel around Japan during the VISA allowance period. I hope I could involve more in Japanese traditional culture, but I am not sure where can I learn more about it. Maybe it would be better if I have more information in learning traditional culture especially in art.(実は私がこの語学学校を選んだのは、日本語をもっと上手に学びたいという理由だけでなく、VISAの期間に日本を旅行するためでもありました。日本の伝統文化にもっと関わりたいと思っていますが、それについてどこで学べばよいかわかりません。伝統文化、特に芸術を学ぶ上で、もっと情報があればもっといいのかもかもしれません。)
- ・学校でぞレズレナ学生の能力が違いますから、先生はその場で状態を理解してどんな学生のレベルが進めるか、他の方法を教えてあげて欲しいです。

(注釈:「なし」の項目は削除、表記は原文ママ、外国語には翻訳を追加)



令和4年度文部科学省委託事業  
「専修学校留学生の学びの支援推進事業」

留学生に関する実態把握アンケート調査報告書  
[留学生対象]

発行日 2022年12月 第1版

受託 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

編集 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会  
(データ集計・分析 株式会社アクセスネクステージ)

住所 〒534-0026 大阪府大阪市都島区網島町6-20 大阪私学会館1F

TEL 06-6352-0048 FAX 06-6352-7553

大専各サイト <https://daisenkaku.or.jp/>

大専各留学生支援サイト <https://study-osaka.com/>